

エクササイズ & ストレッチ

1分間

永田式



かんたん
ダイエット

永田孝行

●監修者紹介

永田 孝行（ながた たかゆき）

フィットネスクラブスタッフ教育及びコンサルタント、総合健康増進センター所長を歴任する傍ら、東京大学大学院医学系研究科健康増進科学研究员として肥満と代謝を研究する。現在、TNヘルスプロジェクト代表取締役、TN健康科学研究所所長及び、国際健康教育ユニオン西太平洋北部地域HSL健康科学研究所所長を兼務して、健康関連研究部門を統括しつつ、他企業のコンサルタントを務める。

また、講演活動や、マスコミを通じて、健康・ダイエットなどをわかりやすく解説したり、各種指導・監修も務める。日本テレビ「特命リサーチ200X」、TBSテレビ「スーパーフライデー」、フジテレビ「スーパーNEWS」、テレビ朝日「せきらら白書」など、出演・執筆したテレビ・ラジオ・新聞・雑誌などは数多い。なじみやすく使いやすいエクササイズグッズの開発にも尽力し、「ループループ」や、「アイスタンベル」（特許取得済み）を利用した健康管理プログラムも手掛けるなど幅広く活躍中。著書に、「低インシュリンダイエット」「低インシュリンダイエット・レシピ集」「低インシュリンダイエットQ&A」「完全保存版 低インシュリンダイエット」「低インシュリンダイエットを続けるために読む本」（新星出版社）など、著作・監修は多数。

かんたんダイエット 永田式 1分間エクササイズ&ストレッチ

著 者 永 田 孝 行
発 行 者 富 永 靖 弘
印 刷 所 慶昌堂印刷株式会社

発行所 東京都台東区 台東4丁目7 株式会社 新星出版社
〒110-0016 ☎03(3831)0743 振替00140-1-72233
URL <http://www.shin-sei.co.jp/>

©Takayuki Nagata

Printed in Japan

ISBN4-405-08161-1

永田式

1分間

エクササイズ
&ストレッチ

かんたん
ダイエット

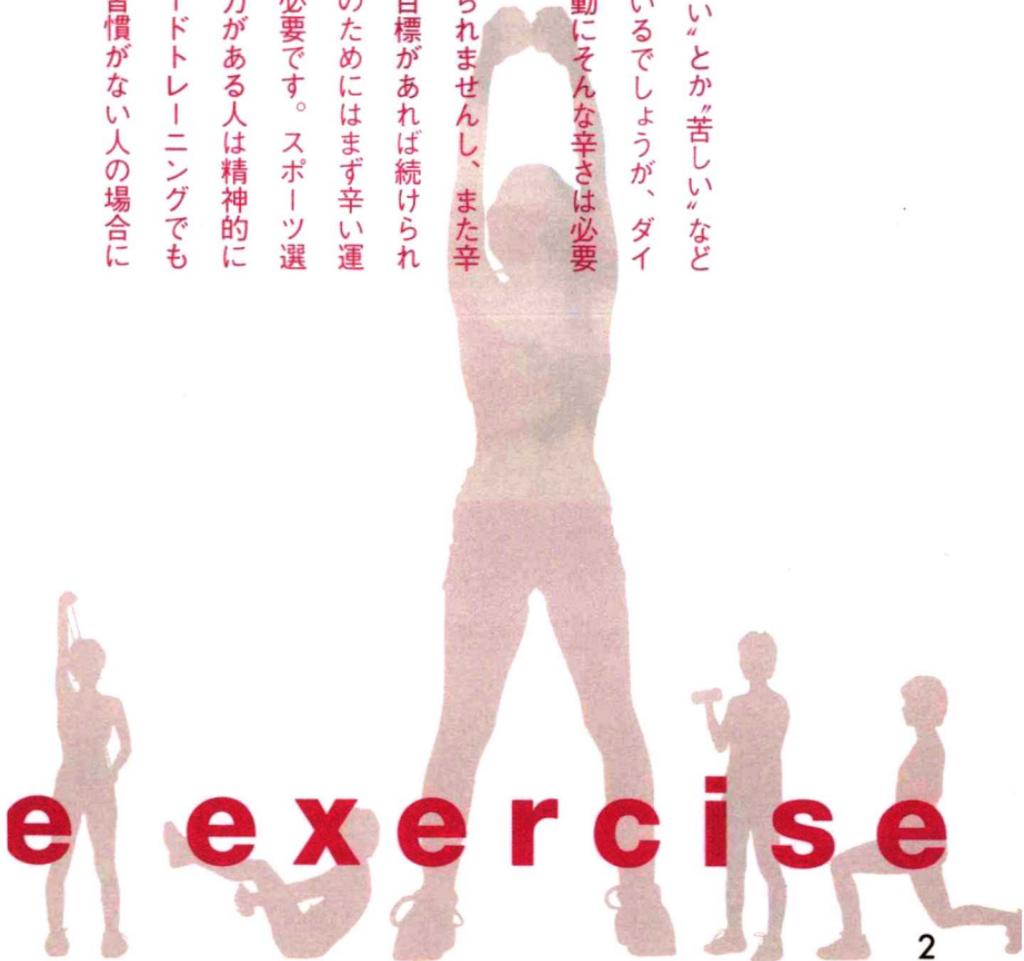


永田孝行

はじめに

「運動」と聞くと“辛い”とか“苦しい”などのイメージを持つ方もいるでしょうが、ダイエットや健康作りの運動にそんな辛さは必要ありません。

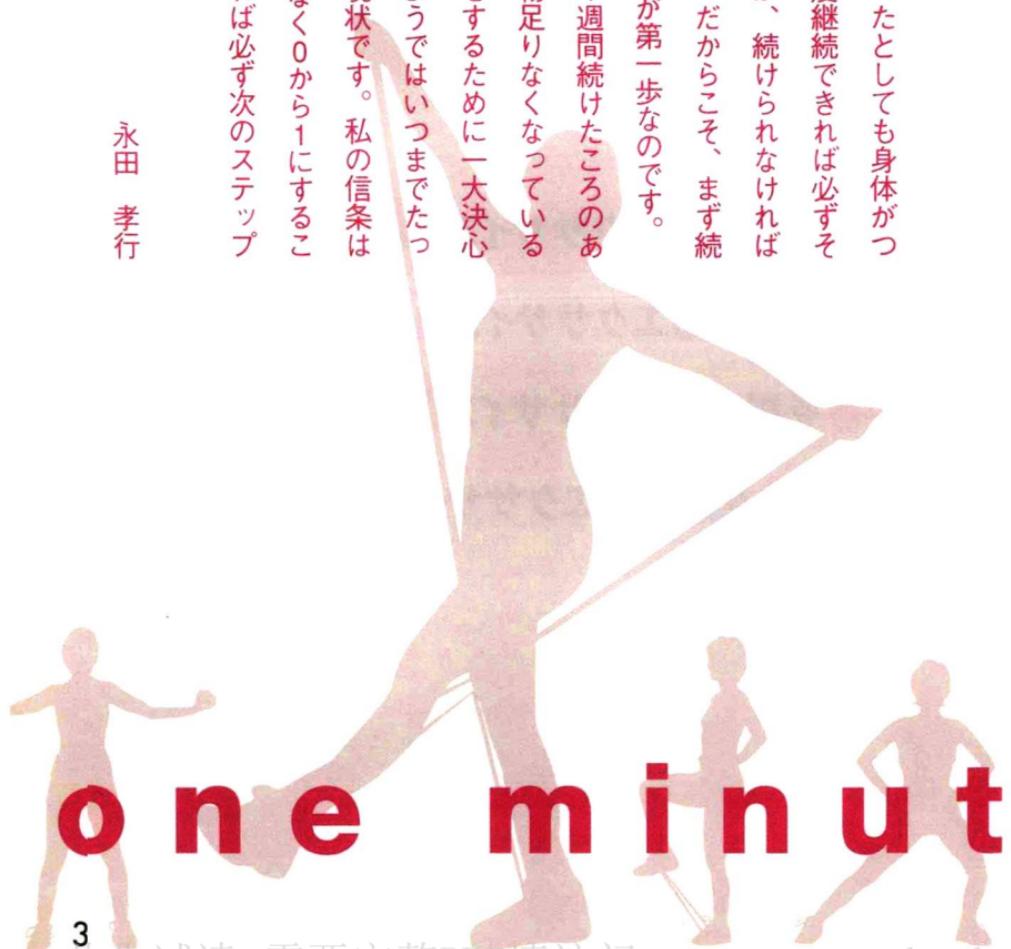
辛いと感じたら続けられませんし、また辛くともそれに打ち勝つ目標があれば続けられるかもしれません。がそのためにはまず辛い運動を続けられる体力が必要です。スポーツ選手のようにもともと体力がある人は精神的に頑張ることでたとえハードトレーニングでも耐えられますが、運動習慣がない人の場合に



はいくら精神的に頑張ったとしても身体がついてきません。ある程度継続できれば必ずその効果は現れますぐ、続けられなければその効果も現れません。だからこそ、まず続けられる運動を選ぶことが第一歩なのです。

たった1分の運動を1週間続けたころあなたはもう1分間では物足りなくなっているはずです。新たなことをするために一大決心をしなければならないようではいつまでたつても始められないのが現状です。私の信条は「今の生活を変えることなく0から1にすること」です。何かを始めれば必ず次のステップが見えてきます。

永田 孝行



contents

Part 1

ダイエットに効果バツグン

1分間 エクササイズ100

ウォーム・アップ	10
ウォーム・ダウン	12

腹を鍛えるエクササイズ**15**

14

脚を鍛えるエクササイズ**22**

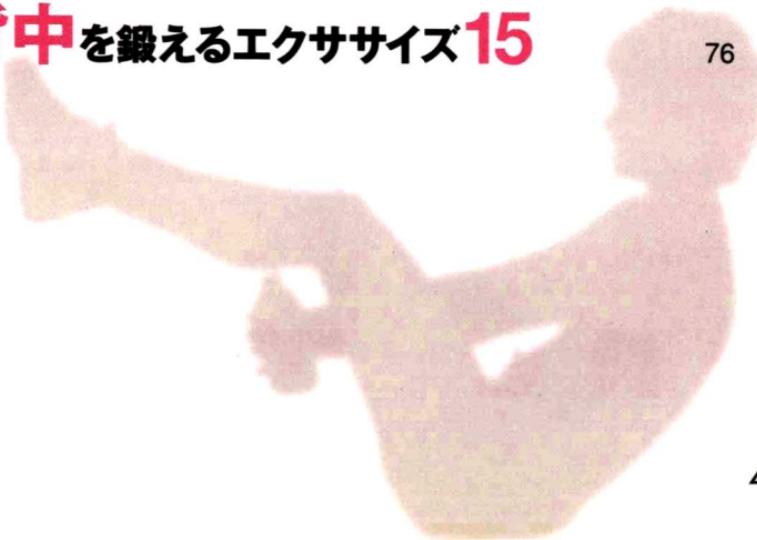
34

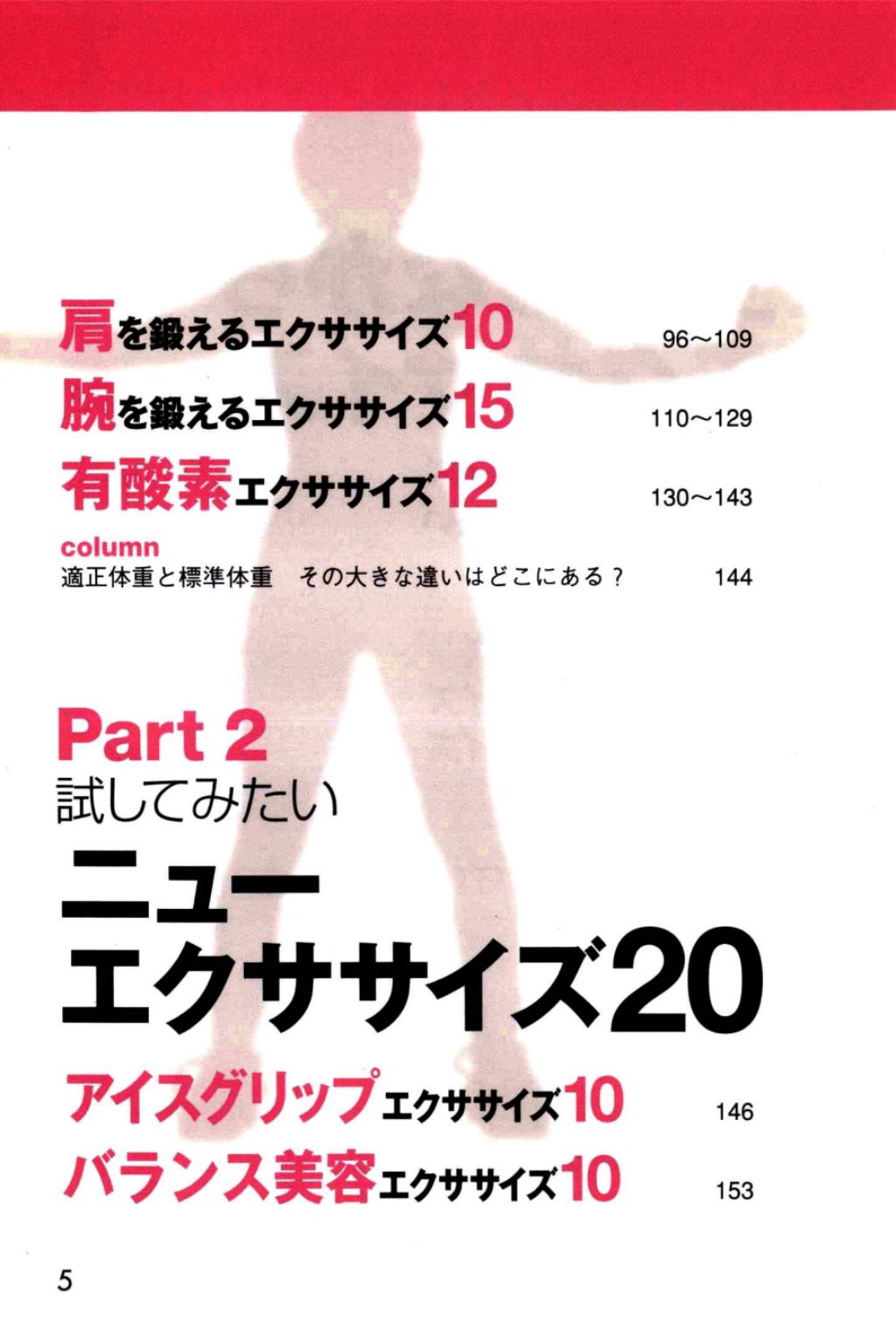
胸を鍛えるエクササイズ**11**

62

背中を鍛えるエクササイズ**15**

76



- 
- 肩を鍛えるエクササイズ**10** 96~109
 - 腕を鍛えるエクササイズ**15** 110~129
 - 有酸素エクササイズ**12** 130~143

column

適正体重と標準体重 その大きな違いはどこにある? 144

Part 2 試してみたい 二ユ一 エクササイズ**20**

- アイスグリップ エクササイズ**10** 146
- バランス美容 エクササイズ**10** 153

Part 3

生活しながら エクササイズ

オフィスエクササイズ	162
仕事の合間にやりたい オフィスストレッチ	166
階段エクササイズ	172
電車内エクササイズ	174
ベッドでエクササイズ	176
お風呂でエクササイズ	180
家事エクササイズ	184
column 身体だけでなく顔もエクササイズで引き締める!	188

Part 4

エクササイズで 身体の不調を治す!

腰痛をいやすエクササイズ10

190

ゆがみを治す

200

便秘・胃弱を治す

202

むくみを治す

205

column

運動の前後に入浴方法をうまく使い分けてみましょう

206

Part 5

エクササイズで 健康的に痩せよう!

Lecture01

208

Lecture04

217

Lecture02

211

Lecture05

219

Lecture03

214

Lecture06

221

staff

撮影 奥野伸太郎

協力 田中光

モデル 原佳代

編集制作 バブーン株式会社

イラスト 谷田由希

矢作美和・小林幸枝

デザイン 中村タマヲ

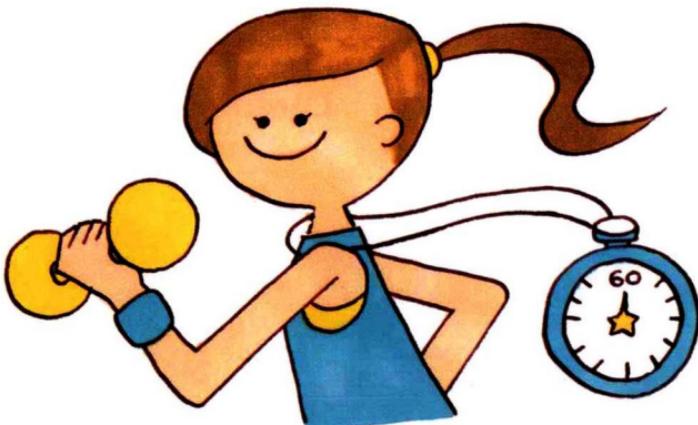
Part 1

1 ダイエットに効果バツグン
分間

エクササイズ

100

「やせたい！」からといって
長時間きつい運動から始めるのは間違い。
まずは1分間の運動を毎日続けることから始めましょう。



腹を鍛えるエクササイズ15	14~33
脚を鍛えるエクササイズ22	34~61
胸を鍛えるエクササイズ11	62~75
背中を鍛えるエクササイズ15	76~95
肩を鍛えるエクササイズ10	96~109
腕を鍛えるエクササイズ15	110~129
有酸素エクササイズ12	130~143

本書の見方

エクササイズは、上記のように腹筋～有酸素エクササイズまで順番通り行うとより効果的です。エクササイズを行う回数の目安や、道具が必要な場合には、各ページの左上にイスやループループ、ダンベルなどのマークを入れてあります。

ループループ



2重になったゴム。反発が少ないので安全。また関節に負担をかけないので有効にエクササイズできます。¥1500 問い合わせは下欄※参照

ダンベル



女性は1kg以上、男性は2kg以上を目安にして使いましょう。慣れて軽く感じるようになったら負荷を順次上げてください。

※(有)TNヘルスプロジェクト <http://www.tnnetwork.com>

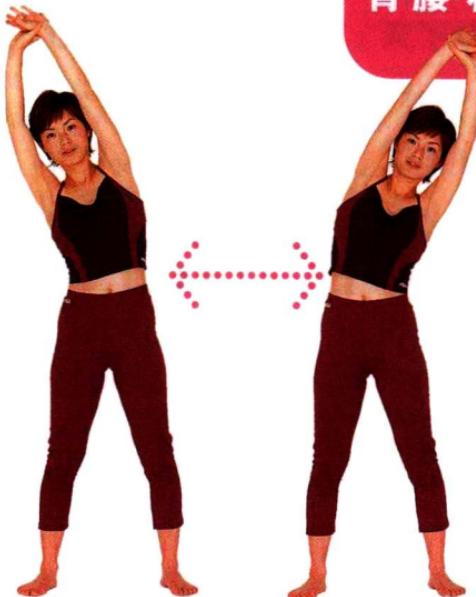
注文はFAXかメールで2個以上で送料無料

FAX : 03-5777-6434 Mail : support@tnnetwork.com

WARM UP

両足を開き両手を合わせ頭上に腕を伸ばします。左右に身体を傾け、わき腹の筋を伸ばします。

背・腰・わき腹

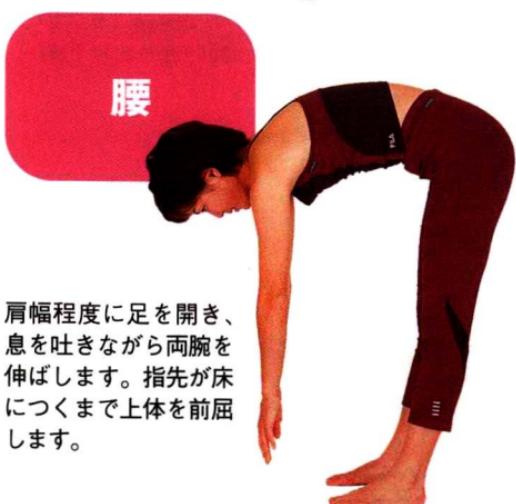


いきなり運動を始めると筋を傷める原因に。
まずは筋や関節を伸ばすウォーム・アップをすれば、
ケガを防止し、長い運動がラクになります。

ウォーム・アップ

エクササイズを始める前に・・・・・

肩幅程度に足を開き、
息を吐きながら両腕を
伸ばします。指先が床
につくまで上体を前屈
します。



脚のつけ根に手をつき、片足を横に1.5歩開きます。開いた脚に重心をかけ上体を傾けましょう。

股関節
太もも内側



アキレス腱



腰に手をあて、足を前後に開きます。前後のアキレス腱が伸びるのを意識し、軽く身体を上下します。

手首・足首



両手を重ねて捻りながら、片方の足はつま先立ちで同時にゆっくり捻りながら回します。逆も同様に。

WARM DOWN

つま先を両手で持ち、お腹をのぞき込むように上体を曲げて、腰と股関節を伸ばしましょう。



腰・股関節

お尻
太もも裏
腰



伸ばした左脚のひざの下に、曲げた右足を入れます。左脚のスネに額がつくまで前屈を。

ウォーム・ダウン

エクササイズが終了したら……

使った筋肉はほぐすのが鉄則。軽いエクササイズとはいって、ストレッチで身体をほぐし、疲労を解消すると共に、柔軟性も高めましょう。また、筋肉痛の予防にもなります。



ひざを少し曲げて座り、左右交互に身体をひねります。曲げる方向に顔をしっかりと向けるようになります。



背中・肩

少し脚を開き立てひざをした状態から両手を前に伸ばして、額を床に近づけながらグーッと腰を引きます。



左右交互にひざを立て、腕を曲げてのせます。前足のアキレス腱を意識して上体を前傾。

アキレス腱



#001
side bent

サイド・ベント

わき腹に意識を集中して真横にできるだけ曲げる

01

ダンベルを片方の手に持ち、身体にそって下ろします。もう一方の手は、後頭部に置き、頭部を支えます。

目線は真正面でキープ。ダンベルを持った側の二の腕はピンと伸ばして。

足は肩幅程度に開き、まっすぐ伸ばします。



左右各15回

tools



頭を支えながら上体
を真横に傾けます。
スジを傷めないよう
ゆっくりと。

02

手で頭を支えている側に
上体を傾け、腹側部に力
を入れ、左右行います。
背中を曲げないように注
意しましょう。



Point

身体を支える両腹側部を
引き締めウエストくっきり!

首筋やわき腹を意識し、ゆ
っくりと曲げることで絶えず
腹部に力を入れながら行いま
しょう。身体を支えている腹
部を引き締めることで、ウエ
ストもシェイプアップでき、
左右のバランスも整い、姿勢
もよくなります。